

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	し尿収集運搬業務委託事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	将来にわたり安定した収集体制を維持するため、民間業者に委託し、もって市民生活の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。
------------------------	--

対 象 (誰を、何を 対象としてい るか)	し尿汲取り世帯	対象とした数	697	世帯
		実際に 利用した数	697	世帯

活動の内容	(何を したか)	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に支障が生じないよう、し尿汲取り世帯から発生するし尿を定期的に収集し、し尿処理施設へ運搬・投入を実施。また、収集運搬業務作業後、汲取り世帯から所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第20条別表第1に規定する、し尿収集運搬手数料を徴収し、領収した手数料を市の指定する口座に振り込む。							
活動実績	項目名	し尿汲取り世帯	8,423	項目名		単位	項目名		単位
			----- 単位 件						----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	32,243	27,948	31,142	91.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	し尿汲取り世帯のし尿収集	年間し尿汲取り世帯(延べ)	8,423	8,423	100.0
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価 実施の有無	有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050400	TEL	2998-9146																																																																						
事業コード	050416 し尿収集運搬業務委託事業																																																																											
開始年度 平成 17 年度 ー 終了年度 平成 年度																																																																												
事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	根拠法令																																																																							
分野別計画・指針		一般廃棄物処理基本計画				廃棄物の処理及び清掃に関する法律、 所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例																																																																						
関連・類似事業																																																																												
総体計画の体系		政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	3 し尿処理の充実	小柱	*****																																																																			
概要		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位				・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○																																																																						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		コード	3211 民間委託化の推進		コード	1111 市民の知りたい情報の提供		コード																																																																				
事業開始の背景		し尿は一般廃棄物として自治体の責任において適正に処理することと規定されており、汲取料金を市が条例で規定した上で、市の汲取り業務を業者が行えるよう許可を与える「許可制」により実施してきた。しかし、公共下水道の普及に伴って汲取り世帯が減少したため採算が合わなくなり、今後も汲取り世帯ゼロに向けて収集していくので、最後まで安定的に業務が遂行されるよう平成17年度から委託化した。																																																																										
③事業の内容		<p>目的(何のために、具体的に)</p> <p>将来にわたり安定した収集体制を維持するため、民間業者に委託し、もって市民生活の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。</p> <p>対象(誰を、何を対象としているのか)</p> <p>し尿汲取り世帯</p> <table border="1"> <tr> <th>対象数</th> <th>単位</th> <th>平成 18 年度</th> <th>767</th> <th>世帯</th> <th>利用数</th> <th>単位</th> <th>平成 18 年度</th> <th>767</th> <th>世帯</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>平成 19 年度</th> <td>697</td> <td>世帯</td> <td></td> <td></td> <th>平成 19 年度</th> <td>697</td> <td>世帯</td> </tr> </table> <p>事業の具体的な内容及び実施方法</p> <p>市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上に支障が生じないよう、し尿汲取り世帯から発生するし尿を定期的に収集し、し尿処理施設へ運搬・投入を実施。また、収集運搬業務作業後、汲取り世帯から所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第20条別表第1に規定する、し尿収集運搬手数料を徴収し、徴収した手数料を市の指定する口座に振り込む。</p>								対象数	単位	平成 18 年度	767	世帯	利用数	単位	平成 18 年度	767	世帯			平成 19 年度	697	世帯			平成 19 年度	697	世帯																																															
対象数	単位	平成 18 年度	767	世帯	利用数	単位	平成 18 年度	767	世帯																																																																			
		平成 19 年度	697	世帯			平成 19 年度	697	世帯																																																																			
④前年評価と改善点		<p>平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >></p> <p>総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)</p> <p>予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了</p> <p>平成19年度中に改善した点</p> <p>委託業者から汲取り世帯の世帯人数や作業状況の連絡を密にし、引き続き手数料の滞納者が発生しないように努めた。</p>																																																																										
⑤経費		<table border="1"> <tr> <th>《会計種別》</th> <th>一般会計</th> <th>平成 18 年度 (千円)</th> <th>平成 19 年度 (千円)</th> <th>平成 20 年度 (千円)</th> </tr> <tr> <td>当初予算</td> <td></td> <td>35,929</td> <td>32,243</td> <td>28,701</td> </tr> <tr> <td>決算 (見込み含む)</td> <td></td> <td>30,472</td> <td>27,948</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(嘱託職員) (臨時職員)</td> <td>(人) (人) (人) (人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員人件費</td> <td></td> <td>0.54 人 4,968</td> <td>0.34 人 3,194</td> <td>※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。</td> </tr> <tr> <td>公債費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td></td> <td>35,440</td> <td>31,142</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>一般財源</td> <td>25,099</td> <td>22,081</td> <td>20,763</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担金</td> <td>10,341</td> <td>9,061</td> <td>7,938</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民一人当たり(単位:円)</td> <td></td> <td>104.9</td> <td>91.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用数一単位あたり(単位:円)</td> <td></td> <td>46,206.0</td> <td>44,680.0</td> <td></td> </tr> </table>								《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	当初予算		35,929	32,243	28,701	決算 (見込み含む)		30,472	27,948		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				正規職員人件費		0.54 人 4,968	0.34 人 3,194	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	公債費					事業費合計		35,440	31,142		財源内訳	一般財源	25,099	22,081	20,763	国・県支出金				受益者負担金	10,341	9,061	7,938	市債				その他					市民一人当たり(単位:円)		104.9	91.8		利用数一単位あたり(単位:円)		46,206.0	44,680.0	
《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)																																																																								
当初予算		35,929	32,243	28,701																																																																								
決算 (見込み含む)		30,472	27,948																																																																									
(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)																																																																											
正規職員人件費		0.54 人 4,968	0.34 人 3,194	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。																																																																								
公債費																																																																												
事業費合計		35,440	31,142																																																																									
財源内訳	一般財源	25,099	22,081	20,763																																																																								
	国・県支出金																																																																											
	受益者負担金	10,341	9,061	7,938																																																																								
	市債																																																																											
その他																																																																												
市民一人当たり(単位:円)		104.9	91.8																																																																									
利用数一単位あたり(単位:円)		46,206.0	44,680.0																																																																									

⑥指	活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		し尿汲取り世帯	年間し尿汲取り世帯(延べ)	件	9,543	8,423	7,600	
標	成果分析	し尿汲取り世帯のし尿収集	年間し尿汲取り世帯(延べ)	件	目標値	9,543	8,423	
					実績	9,543	8,423	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	達成率	100.0	100.0	

⑦一	次	評	現状評価		現状評価	
			対象設定	他事業との整理・統合	実施主体	受益と負担の関係
			<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	委託業者	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
			明らかなった課題		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			し尿汲取り世帯が減少し、年々汲取り業務の効率が悪くなって来ているが、引き続き、委託による安定した汲取り業務を行っていく。			
			今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
			今後も公共下水道の整備を更に進めていく中で、現状としては、汲取り世帯が約700世帯あり、公衆衛生に果たすし尿処理の役割は大きい。	汲取り世帯は、市内全世帯の0.5%まで減少しており、今後も引き続き減少していくと見られるが、最後の1世帯が無くなるまでは、責任を持って汲取り業務を行う必要がある。	未定	
			平成21年度における事業の方向性			
			総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
			<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
			予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
			評価理由			
			公共下水道の整備により、汲取り世帯の減少が更に進んでいくものと考えられるが、下水道普及率が100%に達し、汲み取り世帯数が“ゼロ”になるまでは、今後も安定したし尿の汲取り業務を行っていく必要がある。			
			評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	廃棄物対策課長 高橋 巳喜次

⑧二	次	年	度	用	事	前	評	平成21年度における事業の方向性					
								総合評価	予算	評価理由	評価日	優先順位	優先度
								<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
								<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
								評価理由					
								評価日					
								部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
								見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
								評価理由				<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
								評価日					

⑨個	別	計	画	環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ…有り		計画コード	323
				3-2資源循環の促進	3-2-3廃棄物の適正処理				
		実施の方向							
		基本目標							
		主要課題							
		実施の方向							
		◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し		計画コード				
		基本目標							
		主要課題							
		実施の方向							